

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870105834
法人名	有限会社 媛の華
事業所名	グループホーム 媛の華
所在地	松山市別府町183番地2
自己評価作成日	平成28年6月12日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成28年6月30日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>①四季折々、たくさんの花に囲まれ、季節行事を積極的に行うことで、四季を体感して頂いている。</p> <p>②24時間365日往診可能な協力医療機関と連携し、安心した生活を送ることができる。</p> <p>③職員間で報告、連絡、相談を徹底するよう努めている。</p> <p>④施設内研修の実施、個別研修の実施、外部研修への参加などにより、資質向上に向け取り組んでいる。</p> <p>⑤職員の年齢層は幅広いが、お互い仲良くコミュニケーションが取れており、問題が生じた際には皆で共有し、解決への道を辿ることができている。</p>
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

<p>●移動販売の日は、近所の方も利用しており、利用者とお話をすることもあつた。又、近所の方が野菜を持ってきてくれたり、遊びに来た時には、利用者と一緒に食事をしたこともあつた。</p> <p>●献立は、季節の食材や食物繊維の多いものを意識して、職員が交代で作っており、協力医療機関の栄養士にアドバイスをもらっている。台所から食事ができる匂いや音がしていた。</p> <p>●昼食後には、午後からの過ごし方について、「お部屋で少し休めますか。それとも、ここで過ごしますか」と希望を聞いていた。5月のみどりの日には、利用者が好きな花の種や野菜の苗を選び、庭に植えた。</p> <p>●職員が順番に講師役を務め、研修を行っている。又、看取りやリハビリについては、外部講師を招き、職員の知識や技術向上に取り組んでいる。</p>
---

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム 媛の華

(ユニット名) 2階

記入者(管理者)

氏名 大原 チスカ

評価完了日 2016年6月12日

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所 理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有 して実践につなげている	(自己評価)  毎年、皆で運営方針、行動指針を作成し、職員は共有・実践するよう努めている。	
			(外部評価)  事業所理念「安心安全で楽しく、地域の中で共に支え合っ て生活できる場を提供します」を、各ユニットそれぞれの居間 の壁面に掲示している。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に 交流している	(自己評価)  地方祭や栗の里移動販売、また、味生第2小学生や味生児 童館2歳児の慰問により、交流し、地域との交流を図る。	
			(外部評価)  毎月の移動販売の日は、近隣の方にも利用してもらえるよ うに日曜日に設定して毎月ポスティングして知らせている。毎 年近くの小学生の訪問があり、楽器演奏や歌の披露がある。 近くの児童館から二歳児と母親の訪問があり、踊り歌の披露 ある。公民館のイベント等の案内があるが、都合で参加には 至っていない。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症 の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向 けて活かしている	(自己評価)  運営推進会議にご出席いただいた方に、近況報告と共に、 利用者の状態をお伝えしている。認知症ケアに関する実践 をお話するなど、施設での取り組みを理解して頂けるよう努 めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 践への取り組み状況等について報告や話し 合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活 かしている	(自己評価) 近況報告を行い、現状をお知らせしている。ケアや研修な ど、プレゼンを行い、出席者より意見をいただき、サービスの 向上に活かせるよう努めている。	会議メンバーから、さらに意見や提案を出してもらえよう な取り組みを工夫してはどうだろうか。
			(外部評価) 運営推進会議時には、行事や研修内容の報告を行ったり、 写真で活動の様子を報告している。又、職員が日々のケア の中で取り組んだことをテーマに採り上げて発表しており、 「とろみに関する研究」、「お茶ゼリーに関する研究と試食」で は、3種類の固さのお茶ゼリーを準備して試食してもらった。 会議時には、職員が手作りしたおやつを振る舞っており、参 加者の楽しみになっている。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業 所の実情やケアサービスの取組みを積極的に 伝えながら、協力関係を築くように取り組んでい る	(自己評価) 日頃から必要に応じ連絡を取り、協力関係を築いている。運 営推進会や施設行事にもご参加いただき、ご意見やご指導 をいただいている。	
			(外部評価) 運営推進会議時には、地域包括支援センターの担当者から 感染症の注意喚起や、他事業所の取り組み事例の紹介等 がある。高校生や短大生の職場体験の受け入れを行っている。 同業者の連絡会で当番になり職員が「地震による被災後 の生活において各事業所がどのような協力体制を構築すべ ばよいか」について案を発表し、多くの事業所の賛同を得 た。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における 禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解し ており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしない ケアに取り組んでいる	(自己評価) 施設内研修を実践し、理解するよう努めている。現在、1名 の利用者が身体拘束を実施しているが、記録をし、カンファ レンスを実施して再検討を行っている。	
			(外部評価) 調査訪問時、玄関のドアは開放されており、自由に出入り できるようになっていた。夜間帯のおむつ交換時のみ、利用者 の手が動かないように対処するケースがある。家族の了承を 得ており、介護記録にも状況を記入しているが、今後も「利 用者にとってどうか」という視点で話し合いを重ね、利用者 の立場に立った対応策を検討してほしい。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 高齢者虐待防止に関する研修を実施し、防止に関する理解を深めている。言葉掛け、ケアに関しては、その都度皆で確認し合っている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 成年後見制度に関する施設内研修を実施している。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入所時に始まり、法改正等、契約内容に変更が生じたり、必要事項が発生した際には、適宜説明を行い、必ず書面にて同意を得ている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者、利用者家族の要望に対しては、管理者、職員が情報共有し、検討を行うことで良い運営ができるよう努めている。家族会も開催し、そこでも意見等を聞く機会を設けている。 (外部評価) 家族には、普段から電話で頻繁に報告等を行っている。来訪時には、必要に応じて介護記録をみてもらい、利用者の暮らしの様子等を報告するようなケースもある。日々の様子について個々の担当者が記した「コメントシート」を家族に送付しており、運営推進会議に参加した家族からは、「親の様子がわかり、ありがたい」と感想があった。夕涼み会の家族への案内状には、利用者の手書きのメッセージを添えている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 朝・夕の引継ぎ、職員会議にて職員の意見を聞く機会を設けている。また、職員と個別に話し合いを行うことで、意見等を聞く機会を設けている。 (外部評価) 月1回、職員が順番に講師役になり、テーマを決めて内部研修を行っている。又、看取りやりハピリについては、外部講師を招き、職員の知識や技術向上に取り組んでいる。管理者は、職員に体調を崩したりストレスを溜めないよう、健康管理の大切さを話している。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 設問の通り実践している。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 設問の通り、実施している。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 設問の通り実施している。運営推進会議や外部研修、外部での会議等で交流する機会を設けている。また、外部研修でプレゼンテーションすることで意見等を頂戴することにより、職員の資質向上及び施設サービス向上に繋がるよう取り組んでいる。	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 事前調査にて情報収集を行っている。入所後、要望などをお聞きし、皆で情報共有している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入所時に利用者、家族の要望などをお聞きし、安心して生活できるよう努めている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>生活に対するご意向を必ずお聞きし、支援、援助方針に取り入れている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者様一人一人の思いを大切にし、話を傾聴している。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>毎月、利用料請求時に近況報告をコメントシートにて行っている。必要な時は、その都度、電話を使用して連絡している。必要に応じ、話し合いの場を設けて要望をお聞きしている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>定期的に家族と連絡を取りたい利用者や友人に連絡したい利用者がいた場合は、電話でお話いただいている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>友人が訪ねて来た際には、居室に案内して、お茶等出してゆっくりと過ごしてもらえるように配慮している。移動販売車のスタッフとも顔馴染みとなり、食べ物好みも知ってもらっており、好みの商品を用意してくれる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価)	仲の良い利用者同士で外出をしていただいている。また、お元気な利用者が、意思疎通が困難な利用者のお相手をして下さるなど、支え合って生活している。
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価)	入院されている方については、病院を訪ねたり、利用者家族からその後の経過をお聞きし、再度受入れができるよう取り組んでいる。
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)	利用者の希望に添えるようお話を伺っている。意思表示の難しい方には、家族より意向を伺うなどして、ケアプランを作成している。
			(外部評価)	
			入居時に、利用者や家族から聞き取り、これまでの生活スタイルや習慣、好きな場所や食べ物等を「生活歴シート」にまとめている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)	入所時に生活歴シートを記入し、情報を得よう、また、利用者との会話の中で情報を得ている。
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価)	日々の様子、健康状態を介護記録、日誌に記入し、申し送りを行い、共有している。



自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	
			担当者がモニタリングを行い、皆で検討し、ケアプラン作成に反映している。変化のあった場合も、その都度見直している。	
			(外部評価)	
			「利用者のできることを増やす」ことに着目して、介護計画作りに取り組んでいる。利用者個々の担当職員を中心にモニタリングを行い、職員カンファレンスで話し合って3か月ごとに見直しを行っている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)	
			日々の様子を細かく記録に残している。変化のあった場合は、その都度見直し、ケアプランの作成に当たっている。	
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	
			外出、買い物など、要望に応じられるよう、可能な限り対応を行っている。	
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	
			地方祭にはお神輿が入り、皆さんでお祭りを楽しんでいる。味生第2小学生や味生児童館の2歳児が来所するなどし、コミュニケーションを取っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>24時間往診可能な協力医療機関と連携し、素早く対応している。また、必要に応じて他の医療機関を紹介してもらっている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>往診時は、利用者の普段の様子を医師に詳しく伝えていいる。日中、眠気の強い方には、日光浴をしたり、医師に相談して薬の種類や量の変更を検討してもらいながら対応している。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者の変化は、その都度、施設看護師、協力医療機関への報告、医師の指示を仰いでいる。また、医療機関の看護師がその都度処置等、対応して下さっている。また、施設看護師が対応できることは、医師に確認しながら処置を行っている。</p>	
			<p>(外部評価)</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入院時には、協力医療機関より情報提供を行い、スムーズな治療が行えるよう対応している。入院中は、ケアマネや施設看護師等が病院へ出向き、情報交換している。退院後も安心して生活できるよう支援している。</p>	
			<p>(外部評価)</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>事業所での看取りの有無の希望を伺い、早い段階から利用者家族と話し合っている。協力医療機関の医師を交えた面談を行い、今後の方針について話し合いも行っている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>終末期の希望については、入居時の聞き取りだけでなく、その都度、家族の意思を確認しながら、家族、医師、職員で方針を話し合っている。看取りの段階で入浴が難しい方は、様子を見ながら、毎日清拭をして清潔に過ごせるよう支援している。職員は、「看取り」の外部研修に参加している。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)  緊急時の対応について、施設内研修を実施している。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)  定期的に避難訓練を行っている。地域との協力体制は、運営推進会議の出席者に協力を働き掛けている。  (外部評価)  居間の棚には、転倒防止用突っ張り棒で対策をしている。避難訓練の際は、実際に利用者全員を駐車場まで避難させる訓練を実施した。又、緊急時に備え、各居室の壁面には、火災時と救急搬送時の手順を掲示している。事業所には、防火・防災管理者の資格を持つ職員が3～4名いる。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)  一人一人を理解し、その方々に適した対応を行う。誇りやプライバシーを損ねないよう、声掛けの研修も行っている。  (外部評価)  昼食後には、午後からの過ごし方について、「お部屋で少し休みますか。それとも、ここで過ごしますか」と希望を聞いていた。5月のみどりの日には、利用者個々に好きな花の種や野菜の苗を選び、庭に植え名札を付けて生長を楽しんでいる。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)  利用者の思いを見出し、ご希望に添えるよう努力している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切に、その日をどのよ うに過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)  利用者の生活歴を知り、ご本人の意向に沿った支援ができ るように努めている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよ うに支援している	(自己評価)  朝の整容をし、女性はお化粧をするなど支援している。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に 準備や食事、片付けをしている	(自己評価)  準備ができる方にはお手伝いをお願いしている。毎月のメ ニュー作りの際に、ご意見をいただいたり、作り方のアドバ イスをいただいたり、協同で作業を行っている。	
			(外部評価)  献立は、季節の食材や食物繊維の多いものを意識して、職 員が交代で作っており、協力医療機関の栄養士にアドバイ スをもっている。台所から食事ができる匂いや音がしてい た。時には利用者も野菜の下ごしらえを行うことがある。庭で 収穫した野菜が食卓に並ぶことがある。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じ て確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣 に応じた支援をしている	(自己評価)  利用者の要望も聞きながら職員が献立を作成し、協力医療 機関の管理栄養士に見ていただいている。個別の食事形態 で提供している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔 ケアをしている	(自己評価)  毎食後行っている。義歯は每晚、洗剤で消毒をしている。 定期的に歯科医師による検診や口腔ケアを実施している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	排泄のパターンを把握し、早めにトイレ誘導している。下剤を使用している時も、排便のタイミングを知り、早めに誘導している。	
			(外部評価)		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	栄養バランスの取れた食事の提供や、食物繊維の多い食品を使用するなど、工夫している。朝のりハピリでは、個々に応じたメニューに取り組み、運動をしている。	
			(外部評価)		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	冬にははず湯を提供して季節を感じていただいている。利用者の状態に応じて、シャワー浴等を行っている。	
			(外部評価)		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	訴えのある方は、夜間の睡眠に影響のない範囲で、日中、ベッドやソファで休んでいただいている。	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価)  服薬時は、誤薬防止のため、しっかり本人確認を行い、空袋を捨てる袋を作り、後の確認も行えるようにしている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価)  月に一度、栗の里の移動販売があり、買い物を楽しんでおられる。天気の良い日は、日向ぼっこを行い、気分転換をして頂いている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価)  各利用者の体調にも気を付けながら、外出できるよう努めている。近くに小学校があるので、春には桜を見に行っている。	
			(外部評価)  ドライブや季節の花を見に出かけている。季節のよい時期には、駐車場に出て毎朝ラジオ体操を行っている。	利用者の暮らしを地域にも広げていけるように、家族や地域の方の協力を得られるよう、取り組みを工夫してはどうだろうか。又、重度の利用者も、体調や気温等もみながら外気にふれるような機会を作ってほしい。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)  原則として、金銭は預かっていない。外出時の飲食や買い物に関しては、施設で立て替えている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)  利用者、家族が電話等で連絡を取り合えるよう支援している。施設で行事を実施する際には、利用者がお手紙を書いて案内を出している。書けない方は、職員が代筆している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 施設の各所に、季節に合った花や置物を置いている。施設周りには花や野菜等も植えている。また、壁には毎月掲示物を変えて掲示している。その他、生活環境が快適になるよう配慮している。	
			(外部評価) 日中は、居間で過ごすことが多く、調査訪問時には、廊下で歩行訓練したり、漢字を書く練習をする方、雑誌やテレビをみている方等がいた。観葉植物や造花を各所に飾っている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) リビングには各座席の他にソファを設置している。外にはベンチも置いており、利用者が気軽にどこでも座っていただけるようにしている。	
			(外部評価)	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 利用者の私物があれば、居室で飾っている。私物が少ない方等は、施設で用意した小物を配置している。家具の配置も防災に配慮した配置となっている。	
			(外部評価) ランの花鉢に水やりする日が分かるように、職員がカレンダーに 印を付けていた。利用者は、カレンダーで確認して世話をしている。寝たきりの利用者は、好きな大相撲やニュースをラジオで聞けるよう支援している。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 設問の通り実践している。また、毎月、各利用者ごとに思い出アルバムを作成し、部屋に飾っている。	
			(外部評価)	